

新年あけましておめでとうございます。

今年は辰年、力強い龍のようにエネルギーに年になりますように 私たちも頑張ります。

さて、昨年は恒例の春、秋のイベントを開催するほか 展示場の拡張工事や仕入れ効率を上げるためトラックの導入など様々な取り組みをして参りましたが、本年も新たな取り組みやご提案ができるようスタッフ一同力を合わせて取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願い致します！

松の手入れ

職人の世界でも松の木は難しいと言われています。

先月のお庭のお手入れ

甲府市	上田様	南ア市	横内様
甲斐市	窪田様	甲斐市	宅間様
甲斐市	花形様	甲府市	齋藤様
甲斐市	小林歯科様		

お庭のご紹介（植栽）

昭和町 F 様

作業時間 30分

外構工事が終了したとことで、玄関先に「ソヨゴ」を植栽させていただきました！秋にご予約を頂き念願のシンボルツリーを迎え大変お喜び頂きました。春には既にご予約を頂いております、芝張りを施工する予定となっています。楽しみですね！

北杜市 T 様

作業時間 60分



この秋に入荷した大きな常緑ヤマボウシと、イチゴの木、そしてソヨゴの植栽のご依頼を頂きました。常緑ヤマボウシのこのサイズはなかなかでないので稀

1月 造園工事ご成約

甲府市S様 / 甲府市K様（外構工事仕掛り中）

既にお庭の工事のご成約を頂いているお宅が数件ございますが、1月施工予定は甲府市のS様邸と同じく甲府市のK様邸の2件。K様邸はまずは外構工事を開始しており植栽はそれ以降となりますので、今回はS様邸の図面を元にちょっとプランニングのお話をいたします。



当園の図面お越しはCADにて行います。お客様から図面を預かり寸法を出したらまずは平面図を起こし、それから立体パースへの進みます。これを担当しているのは専務。下見にお邪魔した際に、庭より建物や壁などの写真をバシバシ撮るのは「よりリアルに作るため」だそうです。写真右は作成途中でありますが超リアル...これに影やその季節の太陽の傾きなどを付けて、いろいろな角度からお客様が施工後イメージしやすいものを作り上げるんだと かなり細かいお仕事なんです。植木の植栽位置などはすべて平面図で決定し 平面図がしっかり仕上がらないと当然立体図はできないとのことで、夜中まで事務所で仕事をしています...。1本だけ植栽などの簡単なイメージパースは合成写真で簡単に作ることもできるそうですが、これもまたリアルです。ちなみに上の図の完成度を専務に尋ねると 50%だそうです....。

正月飾り

今年はアルバイトのひとみちゃんが「私も今年はオリジナルでお手製のお正月飾りを作ります！」っていきこんで作ったはいけど（専務「おま、オリジナルってこれは俺が今まで作っていたやつまんまじゃねーか!!」）「だってわかんないだもーん！ごめんなさい!!」って でも上手に作って 農協に出す前に展示場で売れそうだったので竹を使って作りました。



甲斐市篠原2636
電話 055-276-2399
営業時間 9：00～17：00

2023年の人気樹木ランキング決定



ものにはいろいろと流行りがあるように、庭木にも造園にもその時代の「トレンド」というものがあります。1年でガンガン変わるものではありませんが傾向からみると3年スパンくらいで、なんとなく流れが変わるような感じがします。ただ、根強い人気の高上位の庭木はなかなかその地位を譲らず堂々の上位KEEPです。今年当園の出荷ベースのデータを元にランキング評価をしてみた結果がこうなりました。一概にも世の中で流行っているがイコールになるわけではなくその土地 環境で変わりますが なんとなく参考にはなるかなと思います。一昔前ですと、ツゲ、キャラ、松、ヒバ...さすがにもうないですね。ちゃんと手入れして綺麗にしていれば格好いいですが、これが庭のトレンドでしょうか。落葉樹でシュッとしていて自然風の柔らかいアオダモやモミジ、常緑樹ですとインパクトあるソヨゴや常緑ヤマボウシなどが人気です。そして近年上昇中が「ココスヤシ」リゾートテイストに仕上げるのもトレンドの一つでソテツとセットで植栽されるご自宅が増えています。ご自宅に合った造園デザインでトレンドを踏まえて素敵なお庭をつくりたいですね！

板塀

先日庭の手入れにお邪魔したお宅で数十年前に作った竹垣が腐食してしまったとことで板塀の制作を承りました。独立基礎を打ちこれで安心です。施主も大変お喜び頂きました。専務は「いつも俺だけ違うことしてるな...」と言っていました。これはこれで楽しそうにこなしていました。



2024年の営業開始は1/6～★



～忘年会～

年末に恒例の忘年会が開かれ1年の労をねぎらい大賑わいでした。今年も事故も怪我もなく無事に終えられ何よりです。それにしても仲の良いチームですね。2024も頑張ろう！



「目隠し樹木」

庭木には人の視線を遮るためや、防風や防火のため、また侵入を防ぐための植栽（防犯）など機能目的と 見て楽しい癒される景観目的の2つに大きく分けることができます。今回は機能目的としたについてお話しします。住宅街や道路に面した家だと、どうしても窓から家の中が見えてしまうことも多いですね。「開放感のあるすてきな家を買ったのはいいけれど、周囲からの視線が気になる...。」という方も多いのではないのでしょうか？一戸建てだと庭に面した大きい窓がついていることが多いです。時には庭でバーベキューしたり、お子様と遊んだりもできる素敵なものなのですが、開放的な分他の人からも見えてしまうというデメリットがあります。

庭木を使った目隠しのメリット

- ①圧迫感を感じにくい自然な庭をつくれる
硬い素材で人間の手でつくられた塀やフェンスは、庭木よりも圧迫感を感じやすく、庭を全て囲んでしまうと、窮屈さを覚え、開放感のない空間になってしまうこともあります。
- ②目隠しの高さを変えられる
好みの高さのところで剪定（せんてい）して、目隠しの高さも決められます。
- ③防犯性・安全性を高められる

庭木を使った目隠しのデメリット

- ①定期的な手入れが必要になる
- ②病害虫が発生しやすくなる

庭木を用いた目隠し・視線避け対策



密度の高い植木でフェンスがわりに生垣。枝葉がよく茂る木を密に植えて、フェンスのように生垣をつくる方法です。

さりげない列植でさわやかな目隠し。
木を少し間隔をあけて植え、さりげない目隠しをする方法です。1本の木でピンポイントに目隠し・視線誘導を行う



玄関前をピンポイントで目隠しする
玄関前を目隠ししたい場合、樹種は自分の好みに合わせて選ぶのがおすすめです。隠す範囲が狭いので、ある程度の高さがあって、株立ち仕立てにさえできれば色々な木が選択肢に入ってく



目立つ木を植えて、家の方に視線がいかないようにする方法もあります。歩いていてもまず木の方に目が行くので、よっぽど目的を持って覗きにでもこない限り、目隠しとしての役割は十分果たします。